



平成24年11月2日

各位

上場会社名 中部鋼鉄株式会社
 代表者 代表取締役社長 太田 雅晴
 (コード番号 5461)
 問合せ先責任者 専務取締役 村石 喜和
 (TEL 052-661-3811)

第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年5月7日に公表いたしました平成25年3月期第2四半期累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,700	百万円 △600	百万円 △600	百万円 △400	円 銭 △13 07
今回実績(B)	17,371	△568	△523	△611	△19 98
増減額(B-A)	△1,328	31	76	△211	—
増減率(%)	△7.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	23,813	1,374	1,408	854	27 94

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,700	百万円 △800	百万円 △500	円 銭 △16 34
今回実績(B)	15,662	△619	△629	△20 59
増減額(B-A)	△1,037	180	△129	—
増減率(%)	△6.2	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	22,080	1,242	774	25 32

2. 通期業績予想の修正について

平成25年3月期通期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 41,100	百万円 700	百万円 700	百万円 400	円 銭 13 07
今回発表予想(B)	36,200	△200	△200	△400	△13 07
増減額(B-A)	△4,900	△900	△900	△800	—
増減率(%)	△11.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期第2四半期)	43,458	1,464	1,570	828	27 06

平成25年3月期通期個別業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 37,000	百万円 400	百万円 200	円 銭 6 54
今回発表予想(B)	32,400	△400	△500	△16 34
増減額(B-A)	△4,600	△800	△700	—
増減率(%)	△12.4	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期第2四半期)	39,743	1,226	677	22 15

3. 差異及び修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異理由

鉄鋼関連事業において、建設向け需要、建設機械、産業機械向け需要とも低調であり、主要製品である厚板の販売価格の低迷と販売数量の減少により、売上高は減少しましたが、当初予想に比し原材料価格が下落したことにより、営業損失及び経常損失が縮小いたしました。なお、四半期純損失につきましては、株価の低迷による投資有価証券評価損を計上した結果、当初予想に比し拡大いたしました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

当社の主要製品である厚板の下期販売価格が当初計画を下回り、売上及び収益は当初予想を下回る見込であります。このような環境のもと、今後の需要見通しならびに販売価格・原材料価格の動向等を勘案した結果、今期の業績予想を上記の通り修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上